



「家庭の日」作品コンクールで入賞した皆さんと参加者

第22回国見町青少年健全育成推進町民大会が12月19日、観月台文化センターホールで行われ、110名が参加しました。

大会は阿部央県北中学校長による「国見町そして福島の子どもの健やかな成長を願って」と題した講演から始まり、データを用いた比較など、国見町の子どもの特徴が分かりやすく解説されました。

続いて行われたパネルディスカッションでは、「ルール

青少年の健やかな成長を願って 国見町青少年健全育成推進町民大会



講義を熱心に聴く参加者ら

「今から始める終活・相続講座」が11月24日、12月8日、22日の3日間で開催され、延べ51名が参加しました。

第1、3回講座では東邦銀行個人コンサルティング部の馬場貴裕氏を講師に迎え、エンディングノートの手書き方や相続の基礎・税制について学びました。

第2回講座では伊達市の福蔵寺より、石井祐聖住職を講師に迎え、終活に対するの

元氣な今から、将来を考える 今から始める終活・相続講座



住職の講話に耳を傾けます

考え方や暮らまい、最近のお寺事情についての講話が行われました。

参加者らが熱心にメモを取る様子が見受けられ、講座後には個別のケースについて多くの質問事項が寄せられるなど、学びの多い講座となりました。

を守ることは大切なこと」というテーマのもと、民生児童委員やコミュニティ・スクール委員、県北中学校生徒会役員が参加し、活発な意見交換が行われました。

最後に「家庭の日」作品コンクール入賞者13名の表彰と、表彰者4名による作文発表が行われました。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で中止となったため、2年ぶりの開催となりましたが、各方面から多くの方が参加し地域全体で青少年を守り育てていくことを確認し、思いを共有しました。



活発な意見交換が行われたパネルディスカッション

国見町図書館臨時閉館のお知らせ

蔵書点検のため、下記の期間は閉館します。ご理解、ご協力をお願いします。

期間 3月22日(火)～25日(金)

※閉館期間中の本の返却は、観月台文化センター正面入口に設置の返却ボックスに投函してください。



上手くできるかな…

続いて行われたスノードリム制作では、個性あふれるオリジナルの作品が仕上がりに、友達の作品と見比べながら楽しむ姿が見られました。

けん玉の先生が来たよ!! 国見っ子わんぱく広場(冬の特別体験活動)

国見っ子わんぱく広場が国見小学校で12月18日に開催されました。日本けん玉協会から講師を迎え、町寿クラブ連合会の皆さんの協力のもと児童40名が参加しました。

講師の華麗な技の披露に児童たちからは歓声が上がり、けん玉が初体験の児童も楽しみながら意欲的に取り組みました。

この他、人形劇サークルエプロンによる人形劇も鑑賞。



絵本作家の真珠まりこ氏(左から2人目)とパネルディスカッション

「本から始まる豊かな世界」をテーマに、子どもの読書活動推進フォーラムが12月12日に観月台文化センターで開催されました。

第1部は、国見町子ども司書と受講生10名がピアノとコラボレーションし、絵本の群読を披露しました。子どもたちは当日を迎えるまでに、限られた時間の中で講師の指導に熱心に耳を傾け、各自で一生懸命に自主練習を重ねました。

続く第2部では、絵本作家の真珠まりこ氏による講演会を開催。代表作「もったい

本から始まる豊かな世界 子どもの読書活動推進フォーラム

ないばあさん」を始め、多数の読み聞かせが披露されました。「もったいないばあさん音頭」「もったいないばあさんの絵描き歌」では和やかな雰囲気の中、会場が一体となり楽しみました。

第3部のパネルディスカッションでは、県北中学校2年生の佐藤万智さん、斎藤莉々椏さんがパネリストとして参加し、本の思い出や好きな本についてディスカッションしました。

この他、子ども司書が受付や司会進行を担当するなど、一人ひとりが分担された役割をこなし、活躍しました。



練習を重ねた「群読」を披露する子どもたち



国見町教育委員会生涯学習課
(観月台文化センター)
☎(585)2676 FAX(585)2707
E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp
https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/kangetsudai/

リュッケ じかん LYKKE 時間

第35話「寒さを楽しむ時間」

冬のフィンランドは、気温がマイナス30度くらいまで下がります。それでは冬の外出は大変?いえいえ、そんなことはありません!子どもも大人も寒さを楽しみます。私がこれまでマイナス20度以下のフィンランドで体験した外遊びは、「森での焚火」「靴下のまま(靴を履かずに)雪上を走る競技」「雪上でのダンス大会」「凍った湖でのウォーキング」「大学生との雪上パーティー」などなど。繰り返しますが、これらは全て極寒の中で行われているのです!なんと不思議な光景ですが、これも自然と共に豊かに生きる知恵なのかもしれませんね。



凍った湖の上をウォーキング! 気温は-25℃!

文:柴田千賀子(国見町出身の保育研究者。仙台大学教授)